

## 総合科学博物館における企画展の開催状況について

岩田 憲 二\*

A report on the special exhibition held in recent three years (1996-1998)

Kenji IWATA\*

In the Ehime prefectural science museum, we have held a special exhibition every summer. We did a questionnaire on visitors' evaluation every exhibition. In this report, author introduced the result of three years' questionnaire.

### I 企画展実施の考え方

総合科学博物館では開館以来、企画展を毎年1回開催し、多くの観客を集めてきた。平成7年度（H8年2月～3月）に開催された第1回目の企画展「ロボットの歴史と未来」を除いて、2回目以後は毎年7～8月の夏期に開催し、同時にアンケート調査をしてきた（表1-a・b）。

表1-a 企画展開催データ

企画展テーマ	開催期間	入場者数	担当研究科
ロボットの歴史と未来	H8.2.10～3.30	35,036	科学技術研究科
恐竜	H8.7.14～9.1	51,215	自然研究科
出発進行！愛媛の鉄道 ～坊っちゃん列車から未来の鉄道～	H9.7.13～8.31	35,167	産業研究科
たんけん！超ふしぎ館	H10.7.11～8.30	56,135	科学技術研究科

表1-b 企画展アンケートデータ

企画展名	アンケート実施期間	有効回答数
恐竜展	H8.7.16～9.1*	1,458
愛媛の鉄道展	H9.7.13～8.31	1,249
たんけん！超ふしぎ館	開催期間（H10.7.11-8.30） 中の、土日祝日に実施	729

\*7.31-8.2は除く

当館では便宜上、予算化されて年1回（夏）開催する大規模な展示を企画展、それ以外の中小規模の様々な展示（館蔵品展・写真展・巡回展等）を特別展として分類している。当館の企画展の開催目的は、主として（1）学芸員の調査研究成果の発表（2）集客及び広報宣伝効果を挙げる（3）地域社会及び全国への情報発信、の3点である。言い換えれば、担当学芸員が専門分野で

の学術性を主張する一方で、（企画展の）観覧者には分かりやすくかつ一般受けする展示を提供し、なおかつ社会教育施設としての博物館の教育効果も発揮するという、方向性の異なる諸要求を満たすべく企画展を企画・運営している。

当館では、学芸員にとっての展示業務は、資料収集を含めた日頃の調査研究の成果を地域住民に還元できる大切な機会であると位置付けている。企画展を実施する場合、学芸課の自然・科学技術・産業の3研究科が毎年持ち回りで展示の企画・実施面を、振興課企画普及係が予算・展示監視員管理・広報を担当している。

平成8～10年度の3年間で、夏期開催の企画展の実施担当が上記3研究科を一回りしたので、この小論では、当館のこれまでの企画展の開催状況を、実施手順や管理運営及び来館者へのアンケート結果等を基に報告する。

### II 企画展の実施と管理

企画展は、通常、開催予定の3年前から3年計画で進められる。まず、学芸課の担当者や企画展テーマ（大まかな分野）が決められ、担当者はテーマに対応した資料文献調査、他館調査、フィールドワーク等、企画展に必要な展示資料の調査に取りかかり、これらは開催年まで継続して行われる。開催2年前に実施予定テーマが予算書に初出され、1年前に予算要求（展示資料リスト・レイアウト図・概算費用等作成）をして財政的裏付けを得る。同時に（予算要求の送りから）、学芸課と振興課で企画会議を開催し、企画展実施に要する各種項目（展示テーマ・資料・レイアウト・広報・スケジュール等）について両課で調整する。企画会議での決定事項をうけて実施設計を業者に委託し、年度末までに設計書を仕上げ、企画展当該年度に効率的に施工できる体勢を整える。開催前年度に実施設計を発注するのは平成9年度の鉄道展の時から行われ、開催年度の展示工事発注作業を余裕を持って行えるようになった。

企画展実施年度には、実施設計の成果を基に展示業者

\*愛媛県総合科学博物館 企画普及係長  
Ehime Pref. Science Museum

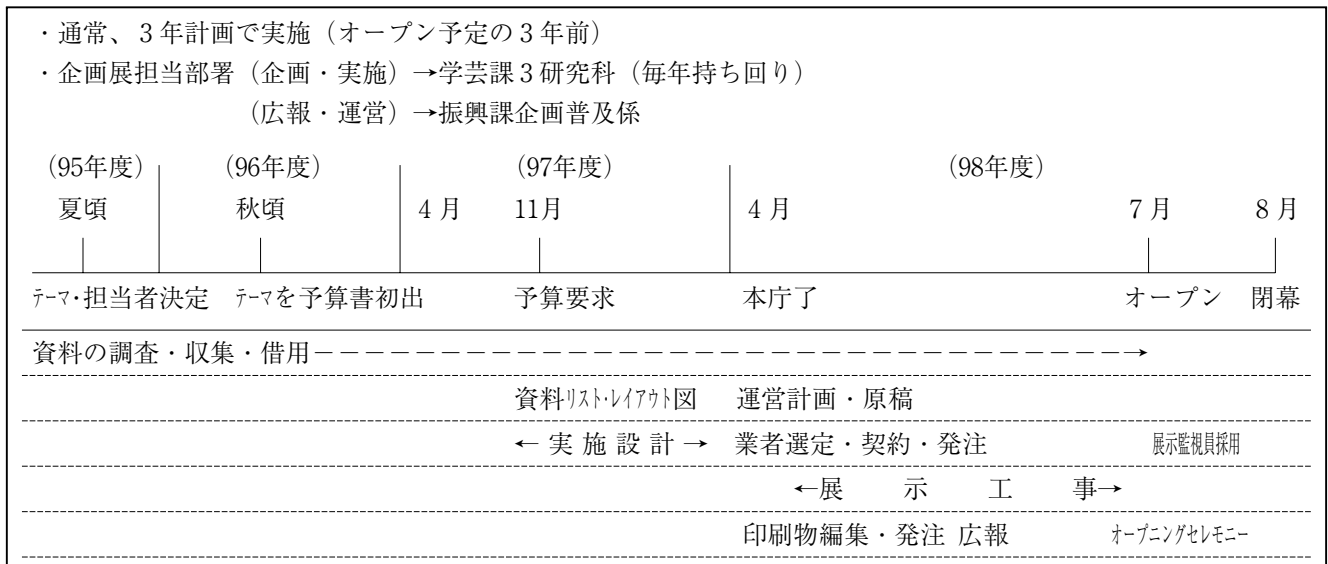


図1 企画展ができるまで：総合科学博物館の例

に工事を発注する。その一方で、印刷物（チラシ・ポスター・パンフレット）の作成や送付、展示監視員の募集等を行いオープンに備える。企画展のオープンに際しては、前日にマスコミ対象の事前公開と、当日にオープニングセレモニーを開催する。以上の一連の流れをまとめたのが図1である。

企画展開催後の管理運営も、学芸課（各研究科）と振興課（企画普及係）両者で担当する。学芸課は展示物の保守管理・企画展示室の管理（電源、照明など）・展示業者との連絡調整・展示説明、振興課は展示監視員の労務管理・マスコミ対応を受け持つ。

### Ⅲ アンケート結果

平成8年度から10年度までの夏期開催企画展では、いずれも来館者に対してアンケート調査を行い、8年度のみについては既に報告済みである（岩田ほか、1997）。ここでは、3年間を通しての集計結果を、周知ソース・来館動機・体験コーナーの評価・面白さへの評価・料金評価・企画展分野の要望について報告する。

#### 1 企画展を何で知ったか

当館では、企画展開催に際して毎回目標入館者数が設定され、それをクリアするためあって広報を大々的に行っている。例えば、県内の小中生には1人1枚チラシを配付し、児童生徒を含む家族連れの動員を図っている。そのせいもあって、チラシ・ポスターでの情報入手が最も多く、しかも年々比率が上昇している（表2）。それから、知人からの口コミが多いのも特徴で、企画展の評価が直接、客の出足に関係することを示す指標といえる。

表2 周知ソース

情報源/企画展名	恐	竜	愛媛の鉄道	たんけん！ 超ふしぎ館	合 計
県民だより・県政番組		5.8	5.7	6.0	5.8
市町村広報		3.4	3.9	3.2	3.5
チラシ・ポスター		22.4	23.6	28.8	24.2
新聞・テレビ・雑誌等		13.8	14.8	15.5	14.5
知人から（口コミ）		19.1	18.7	14.4	17.9
博物館に来て知った		21.2	22.3	16.3	20.4
その他・無回答		14.4	11.0	15.8	13.7
合 計		100.0	100.0	100.0	100.0

#### 2 来館の動機

企画展開催の際、企画展を目的に来るのかあるいはそれ以外の常設展やプラネを目的に来館したかは、知っておかなければならない項目である。つまり、広報効果があったのかとか企画展の企画内容が魅力があるかどうかに関わってくるからである。アンケートの結果は、「企画展への興味」の比率が年々上がり、「常設展・プラネタリウムのついで」の比率は年々下がっている（表3）。企画展の評価や広報効果が上がっていると捉えたい。

表3 企画展に来た動機

動機/企画展名	恐	竜	愛媛の鉄道	たんけん！ 超ふしぎ館	合 計
企画展に興味があった		39.1	41.4	53.9	43.1
常設展・プラネのついで		33.7	31.6	20.3	30.1
団体旅行		2.7	3.0	1.9	2.7
個人・家族旅行		10.8	14.7	9.3	11.9
その他・無回答		13.7	9.3	14.4	12.2
合 計		100.0	100.0	100.0	100.0

### 3 企画展の評価

先の来館動機とも関わることであるが、「面白い」という肯定的評価の比率も毎年上昇している（表4）。ただ企画展の面白さは、学術面での評価とは別ものなので、この項目は利用者サイドの評価である。

表4 企画展の評価表

評価/企画展名	恐	竜	愛媛の鉄道	たんけん！ 超ふしぎ館	合 計
面白い	47.4	63.3	80.1	60.1	
普通	30.3	31.6	11.0	26.7	
面白くない	16.7	2.3	3.6	8.7	
無回答	5.6	2.8	5.3	4.5	
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	

### 4 体験コーナーの評価

当館では、子どもを含む家族連れの方を基本方針に置いているので、体験型の展示コーナーを設置して、低年齢層にも配慮している。ただ、単に面白いとか体験できるという事だけではなく、展示テーマ（恐竜、鉄道、科学の不思議）に対して興味を抱ききっかけを比較的簡便に提供する事が体験コーナー設置の主目的である。アンケート結果では概ね体験コーナーに肯定的な評価結果が出ている（表5）。

表5 体験コーナーの評価

評価/企画展名	恐	竜	愛媛の鉄道	たんけん！ 超ふしぎ館	合 計
よかった	35.4	55.8	—	—	
普通	34.3	31.4	—	—	
よくなかった	12.0	2.3	—	—	
無回答	18.3	10.5	—	—	
合計	100.0	100.0	—	—	

（注）「たんけん！超ふしぎ館」は展示全体が体験コーナーなので質問項目を設定しなかった。

表6 料金の評価表

評価/企画展名	恐	竜	愛媛の鉄道	たんけん！ 超ふしぎ館	合 計
高い	57.8	33.1	33.5	43.7	
適当	31.0	56.5	54.7	45.3	
安い	4.1	4.0	3.4	3.9	
無回答	7.1	6.4	8.4	7.1	
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	

### 5 料金について

料金評価は、表4の面白さの評価と反比例の関係にある（表6）。つまり、面白いという評価が高いほど、当然のことながら料金が高いと考える比率は低くなる。企画展と常設展示が同額ということから、企画展料金の割高感はどうしても残るものと思われる。

### 6 今後望む企画展分野

今後望む企画展の分野では、質問に対する対象分野を連想しやすいということから、自然史分野（動物・化石・岩石など）が1/3強を占める。企画展を開催した年に、開催テーマが属する分野に対する要望が、いずれも高い数値を示したことが特筆される（表7）。

表7 今後望む企画展分野

分野/企画展名	恐	竜	愛媛の鉄道	たんけん！ 超ふしぎ館	合 計
自然史	37.3	38.4	32.8	36.8	
天文	26.7	19.9	23.9	23.6	
科学技術	18.8	23.7	23.7	21.6	
産業	2.9	6.7	3.6	4.4	
その他・無回答	14.3	11.3	16.0	13.6	
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	

（注）網かけ数字は、当該年度に開催された企画展の分野

### IV まとめ～今後の展望～

企画展は博物館の姿勢を表す一つの指標といえるのではなかろうか。当館では、企画展は各種事業の中で最大の予算と労力を投入をしつつ最大の集客力・宣伝効果を持ち、また、学芸員サイドからの情報発信や学術成果還元絶好の機会となっていて、館を挙げてのイベントと位置付けている。公費で運営される県立博物館という行政機構の中では、一定以上の入館者数と収入、それに満足感のある展示を提供することによって得られる地域住民の支持が要求される。一方、一学芸員の立場からすれば、学術面での評価や「博物館業界」での評価も無視することはできない。こうした隘路のような状態がまさに、博物館が置かれた状態そのものであり、企画展を担当する学芸員が呻吟する要因の一つとなっている。

当館においては、情報化時代・生涯学習時代・高齢化社会・学校教育の多様化といった、博物館外部の「時代の流れ」に対応し、地域社会に開かれた博物館、誰もが気軽に楽しみながら学べる博物館を指向し、企画展もその流れに沿った企画・運営をしている。「敷居」を低くしてできるだけ多くの方々に観てもらい、各来館者個々の能力（学習経験・社会経験・年齢等）に応じて企画展を楽しんでもらう、そして、地域の自然や文化、或いは科学の法則・原理について、展示を通して自ら考え思考する場を提供するのが、企画展の本質だと考える。

### 引用文献

岩田憲二ほか（1997）：平成8年度企画展入館者動向について～アンケート調査の結果より～。愛媛県総合科学博物館研究報告，2，29-35。

資料（H8年度企画展「恐竜」アンケート用紙）

# 企画展アンケート調査

（ ）月（ ）日

ご来館いただきありがとうございます。企画展をより良くするためのアンケート調査です。ご意見・ご感想等をご遠慮なくご記入ください。

おすまいは	県内（ 市、町、村）	県外（ ）		
性別、年齢	男性	女性（ 歳）		
ご来館は	ご家族と	お友達と	団体で	一人で
ご来館回数	（ 回）			

## 1. 企画展を何で知りましたか

- (1) 県民だより（いきいき愛媛） (2) 市町村広報 (3) 県政番組  
 (4) 新聞・テレビ等のニュース (5) ポスター (6) チラシ  
 (7) 博物館に来て知った (8) 知人から (9) 各種刊行物  
 (10) その他（  
）

## 2. 企画展に来られたのは

- (1) 恐竜に興味があった (2) プラネタリウム・常設展示を見るついで  
 (3) 団体旅行 (4) 観光の途中（個人・家族）  
 (5) その他（  
）

## 3. 企画展はどうでしたか

- (1) おもしろかった (2) 普通 (3) おもしろくなかった

## 4. 次の体験コーナーはいかがでしたか（○印をつけてください）

- (1) スケッチコーナー（よかった ・ 普通 ・ よくなかった）  
 (2) クラフトコーナー（よかった ・ 普通 ・ よくなかった）  
 (3) 恐竜もの知りクイズ（よかった ・ 普通 ・ よくなかった）

## 5. 企画展の料金について（大人500円・小中学生250円）

- (1) 高い (2) 適当 (3) 安い  
 大人（  
円）小中学生（  
円）が適当だと思う。

## 6. 今後、どのようなテーマ（分野）の企画展が見たいですか

- (1) 自然史（動物、植物、鉱物・岩石、化石） (2) 天文 (3) 科学技術 (4) 産業  
 (5) その他（  
）

## 7. ご感想およびご意見をお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。お帰りの際に回収お入れください。